

大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策における平成 27 年度実施内容及び平成 28 年度実施予定

＜時代に合った(人口構成の変化等に合わせた)地域をつくり、安心な暮らしを守る＞

施策 1 : 「健幸」の実現のための環境づくりを進める

(事業費は H27 が実績額、H28 が予算額 : 千円)

施 策	総合戦略の施策の方向	平成 27 年度実施内容・平成 28 年度実施予定	事業費	担当課
①「健幸」な暮らし方をまちづくり化し普及啓発 (H28 年度から着手)	全町民に心身が健康であることが幸せな暮らしにつながる理解を普及し、生きがい活動や健康増進活動を増やすまちづくりを目指す。	【平成 28 年度】 「健幸都市おおがわら」を啓発するため、まずは毎月広報に啓発記事を掲載。「健幸」につながる生きがい活動や健康増進活動を紹介していく。	H28 年度 0	企画財政課
②健康増進「歩きたくなるまち」創造(景観改善を含め) (H28 年度から着手)	健康増進のために「歩く」ことを推奨していく。健康管理システムを導入し、データ化(見える化)及び歩いた歩数をポイントにし商品券と交換する動機付けを進める。景観改善など環境づくりも検討。	【平成 28 年度】 「歩きたくなるまち」創造事業プロジェクトチームを立ち上げ、歩くことを中心とした運動の普及の仕方を企画立案する。本年は、歩数計を活用し、歩数を記録管理、歩数に応じたポイントを付与するシステムを導入するとともに、運動啓発の教室、ウォーキングコース誘導サイン設置、公園への健康遊具設置などを進める。	H28 年度 12,261	企画財政課
③年代に応じた切れ目のない健康施策の推進 (H28 年度から強化)	各年代に応じた運動・栄養などの教室を多く設け、健康年齢期間の保持を目指す。また、高齢者に対し運動する機会を増やすとともに、地域の中で高齢者が集まる場を設け、生きがい活動を多くし元気な高齢者づくりを支援する。	【平成 27 年度】 ・地区健康教室の実施。8 会場、13 地区対象、参加者 260 人 ・自主グループへの活動支援。8 グループ、延 17 回、参加者延 257 人 NPO 法人スポーツ振興アカデミー自主事業による健康運動教室を実施。 【平成 28 年度】 ・運動普及事業の新たな自主グループの立上げのため、地区健康教室を 1 カ所増。4～8 月までの計 8 回を実施し、自主グループに移行する予定。 ・運動を中心とした健康教室自主グループへの活動支援として、8 グループに対し年間 1～3 回の技術支援を実施する。 ・地区の保健協力員が中心となり希望する地区で健康教室を実施する。(10 地区程度を予定) NPO 法人スポーツ振興アカデミー自主事業による健康運動教室は、成人以上のコンディショニングを実施しているが、すそのを広げながら 60 歳以上を対象にした健康運動教室開催などを検討する。	H27 年度 84 H28 年度 107	健康福祉課 生涯学習課

施策	総合戦略の施策の方向	平成 27 年度実施内容・平成 28 年度実施予定	事業費	担当課
④中高年の健康分析の 情報発信による健康増進啓発 (H28 年度から着手)	国保被保険者が中心のデータを活用し、町内の年代ごとの健康分析を随時発信するとともに、健康増進の情報を積極的に広報する。	【平成 28 年度】 平成 28 年 3 月に策定した国保データヘルス計画に基づき、広報やおしらせばんを利用して情報を発信する。 ホームページ、広報おおがわら「すこやかコラム」で健康増進のための情報を発信する。	H28 年度 0 0	町民生 活課 健康福 祉課

施策 2：在宅で暮らし続けるための体制づくりを進める

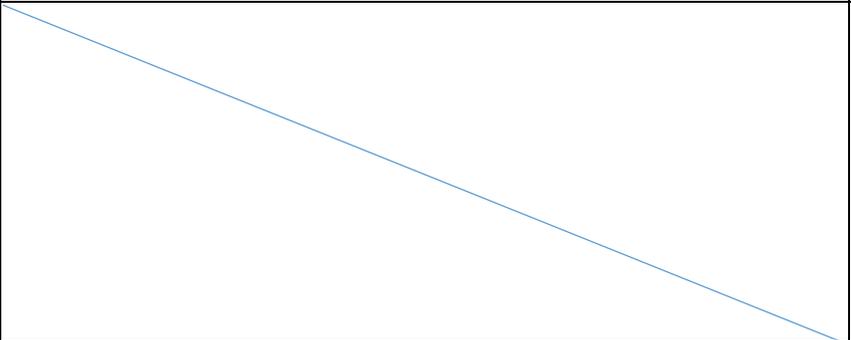
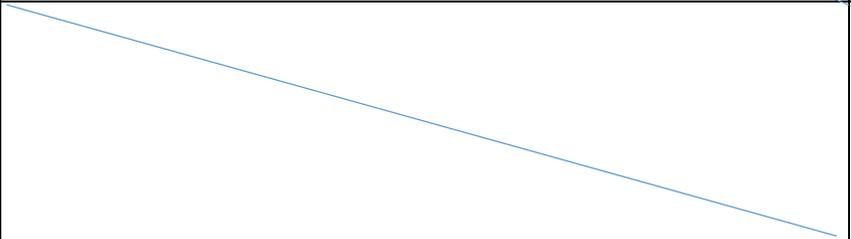
(事業費は H27 が実績額、H28 が予算額：千円)

施策	総合戦略の施策の方向	平成 27 年度実施内容・平成 28 年度実施予定	事業費	担当課
①地域包括ケアシステムの整備準備 (H27 年度から強化)	医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスが一体的に提供されるしくみ「地域包括ケアシステム」の構築準備を進める。高齢者の健康の保持増進と介護予防に努め、在宅で暮らせるよう地域全体で支える。 ・介護予防給付においては、平成 28 年度より介護予防・日常生活支援総合事業へ転換。地域ケア会議の充実、在宅医療、介護連携の推進、認知症施策の推進、生活支援サービス体制整備の準備など、引き続き関係機関と一体的なしくみづくりを準備。	【平成 27 年度】 地域包括ケアシステム構築に向けて、地域ケア会議や医療・介護連携推進会議などを通して協力体制の整備を図るとともに、平成 28 年度に始まる介護予防・日常生活支援総合事業に必要な要綱等の整備を行った。 【平成 28 年度】 前年度に引き続き協力体制の整備を図り、介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な運営に努めている。また、生活支援サービス体制のあり方を検討するとともに、生きがい活動支援通所事業など従来の高齢者福祉サービスの見直しを行っている。	H27 年度 33,211 (事業に係る総額) H28 年度 59,256 (同上)	健康福 祉課
②介護予防サポーター・認知症サポーターの拡大及び介護予防・認知症理解を深めるための普及啓発 (H27 年度から強化)	介護予防サポーター・認知症サポーターを増やし、介護予防や認知症に対する理解を普及啓発する。 ・介護予防や認知症に対する理解を啓発し、地域全体で理解者を増やす。サポーター養成講座の対象者について、今後も広い年代層へ働きかける。講演会、講座、啓発物配布など一層普及啓発を促進する。	【平成 27 年度】 ○介護予防サポーター及び認知症サポーターの養成講座開催 ○認知症サポーター活動 ○各種講演会、出前講座、パンフレット配布等 【平成 28 年度】 ○介護予防サポーター及び認知症サポーターの養成講座開催 ○認知症サポーター活動及び介護予防サポーター活動 ○各種講演会、出前講座、介護予防手帳配布等	H27 年度 5,304 (同上) H28 年度 7,005 (同上)	健康福 祉課

施 策	総合戦略の施策の方向	平成 27 年度実施内容・平成 28 年度実施予定	事業費	担当課
③介護予防意識の啓発強化 (H28 年度から強化)	生活の中で介護予防を心がける意識を広げるとして、介護予防の講演会、講座、啓発物配布などを進めるとともに、予防実践を要する対象者に対し介護予防手帳による意識改善の啓発も行う。	【平成 27 年度】 ○各種講演会、出前講座(②と重複) 【平成 28 年度】 ○各種講演会、出前講座 ○予防実践を要する対象者及び支援者に介護予防手帳等を配布	H27 年度 ②と重複 H28 年度 ②と重複	健康福祉課
④地域見守りネットワークの拡大 (H27 年度から強化)	長寿みまもり隊に賛同された各種団体及び事業所などで組織された地域見守りネットワーク事業の事業拡大を図る。また、現在取り組んでいる「みまもりねっと」メール配信サービスについても充実を図る。	【平成 27 年度】 ○長寿みまもり隊活動 ○「みまもりねっと」メール配信サービス(登録・配信) ○生活支援体制検討・整備 【平成 28 年度】 ○長寿みまもり隊活動、みまもり隊全体会議開催 ○「みまもりねっと」メール配信サービス(登録・配信) ○生活支援体制検討・整備	H27 年度 1,655 H28 年度 2,335	健康福祉課
⑤介護家族慰労に対する表彰等の検討 (H28 年度から検討)	在宅介護に長年たずさわった家族に対し、長年の介護に対する介護家族慰労の表彰などの検討を進め、地域社会での在宅介護の理解を広げていく。	【平成 28 年度】 長期にわたって介護を行っている家庭の現状把握を行う。	H28 年度 0	健康福祉課
⑥ショートステイ整備支援による在宅介護の強化 (H28 年度から着手)	在宅介護が増える状況に対し、介護家族の負担軽減、要介護高齢者の生活支援としてショートステイの整備に対し助成を行い、在宅介護を支える体制を強化する。	【平成 28 年度】 平成 28 年度中のショートステイ開所を目指し、現在施設整備を事業者の公募中。	H28 年度 42,700	健康福祉課
⑦三世同居用住宅の新築・増築等助成制度の整備(在宅高齢者支援)	要介護高齢者等が安心して生活できるよう、世代間で支え合う家族形態を応援するとして、三世同居用住宅の新築・増築等に対し助成制度をつくる。		H29 年度 から着手	企画財政課

施策3：地域課題の対応による安心な暮らしづくりを進める

(事業費H27が実績額、H28が予算額：千円)

施策	総合戦略の施策の方向	平成 27 年度実施内容・平成 28 年度実施予定	事業費	担当課
<p>①空き家実態調査による実態把握、特定空き家等対策の制度化 (H27 年度から着手)</p>	<p>空き家の実態把握を行い、町内の空き家の状況を分析し、特定空き家等に対しては制度化を進め、対応を進める。</p>	<p>【平成 27 年度】 空き家等の適正管理に関する条例及び規則の制定。 空き家実態調査の実施(町内全域)。 空き家等対策協議会の設置及び開催。</p> <p>【平成 28 年度】 H27 実施 空き家実態調査に基づく個別調査(約 300 棟)。 空き家等対策協議会の開催(空き家対策計画等の検討)</p>	<p>H27 年度 399</p> <p>H28 年度 180</p>	<p>総務課</p>
<p>②「(仮称)大河原大学」開校準備・研究</p>	<p>これからの大河原を支える人材づくりとして、地域の課題に対応する担い手育成の大学を準備する。元気高齢者の活躍の場ともなり、観光や郷土学のほか結婚、子育て、介護予防、健康増進など総合戦略の施策推進の担い手ともなる将来を見据えた人材づくりの拠点とする。</p>		<p>H29 年度 から着手</p>	<p>企画財政課</p>
<p>③町内各所に防犯カメラ設置の検討</p>	<p>通学路での不審者出没や危険運転、空き巣、悪徳訪問、詐欺も横行する現実もあり、地域を守る抑止力として防犯カメラが設置できるかを検討する。</p>		<p>H29 年度 から検討</p>	<p>総務課</p>